



震災前、東松島市の野蒜・宮戸地区には海水浴に適した海岸が数カ所あり、夏季は多くの海水浴客でにぎわいました。しかし、震災で発生した津波によって海岸の砂浜が流失し、海水浴客を受け入れる交通機関や観光施設なども壊滅的な被害を受けました。地域の皆さんは海水浴場の再開のために、がれきの撤去や避難誘導などを行い、海水浴客を受け入れる態勢を順次準備しました。そして、2013年7月～8月の日曜限定の海水浴場が開設され、期間中(6日間)は約6,400人が訪れました。
参考資料：市報ひがしまつしま 2013年7月15日号7ページ、9月15日号6ページ

奥松島「絆」ソーラーパークの上空からの全景【撮影日：2013年6月】



奥松島「絆」ソーラーパークは復興と「環境未来都市」を支援する民間企業からの事業提案から実現したものです。面積は4.7haで、東京ドームとほぼ同じ広さの敷地に縦166.2cm、横99cmの太陽光パネルが14,616枚並べられています。発電能力は約2MW(1,999kW)で、一般家庭の約600世帯に相当する発電が可能です。発電した電気はすべて電力会社に売電します。敷地内に高さ4mの築山があり、環境学習の場として自由に見学することができます。
参考資料：市報ひがしまつしま 2013年11月1日号2ページ

今年4月入居開始予定の小松谷地地区災害公営住宅の現場見学会【撮影日：2013年11月】

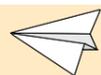


東松島市では、戸建型および集合型の災害公営住宅として約1,000戸を整備しています。今年4月には、小松谷地地区災害公営住宅をはじめとする約250戸が完成し、順次入居を開始する予定です。今後も、平成27年度までに順次整備を行い、完成・入居していく予定になっています。
11月に行われた現場見学会には、入居希望の市民などが訪れました。
参考資料：市報ひがしまつしま 2013年2月1日号11ページ



少しずつ東松島の復興は進んでいます。完全には元通りになったわけではありません。被災地が今どういう状況なのか。支援をしようと思っても、それを知らなければできません。まずは今の被災地の現状を知ること。それが、支援への第一歩となるはず。震災から3年、復興を実感する2014年へ

東松島からの報告



熊本と東松島の「絆」
これまででいただいたご支援と東松島の現状

東日本大震災発生後の東松島市には、これまで熊本県の皆さんから多くの支援をいただいています。震災発生直後の2011年4月から12月までは、熊本県の県職員・市町村職員による合同支援チーム「チーム熊本」(全34次)が東松島市に派遣され、市役所での災害対応窓口業務や申請書類の整理、市内でのボランティア活動など、多岐にわたるご支援をいただきました。2012年4月からは熊本市職員および熊本県内の市町村職員約40人が、東松島市の復興事業を担うため、最長1年間、長期派遣されています。また、熊本県内の小学校から被災した東松島の学校への支援米の提供、熊本市図書館による東松島市図書館への移動図書館バスの貸出など、さまざまな形でのご支援をいただきました。熊本県PRキャラクター・くまモンにも、被災した東松島の保育所などを訪れてもらい、子どもたちを励ましていただきました。現在、被災した東松島市民の皆さんは、市内の1450戸以上の仮設住宅や市内外の民間賃貸住宅などで今後の生活や将来の展望を模索しています。今後の大きな課題として「住宅の再建」「公共交通機関の復旧」「雇用の確保と地域経済の復興」などが挙げられます。特に快適な住環境と安定した雇用の確保が実現しなければ、本市からの人口流出を招きかねません。

東松島市では、被災した市民の皆さんにとって「災害に強く安全なまち」「安心して笑顔で暮らせるまち」となるよう、内陸部への集団移転先の造成工事と災害公営住宅の建設・入居、あわせて市民の住宅再建を推進しています。同時に、新たな地域コミュニティの形成・再構築のため、市と市民が一体となって協働で取り組む組織を立ち上げました。また、持続可能で新たなラ



東松島市総務課
おやまあつし
小山淳志さん

イフスタイルとなるモデル都市を目指し、3年前、東松島市は国の環境未来都市の認定を受け、昨年夏には野蒜海岸近くにメガソーラーが完成しました。震災後から不通となり代行バスでの運行が続いているJR仙石線は、鉄道路線を内陸部に移して、平成27年中に開通予定です。津波で被害を受けた農地や漁港・河川海岸の堤防の復旧工事が現在も進められ、地域経済の担い手である市内の事業者たちも、それぞれの業種分野で頑張っています。復興への道のりはまだまだ長く険しいものがあります。これからも、被災地・東松島のことを想うこと、記憶することだけでも、大きな支援になります。熊本県と東松島市の縁と絆が、これからもより一層深まることを願っています。

東松島の復興への歩み 2013



←被災直後の大曲浜・北上運河沿い(2011年3月撮影)
↓現在の大曲浜・北上運河沿い(2013年1月撮影)

